



シリーズ豊前市 SDGs とは？

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」～あらゆる人たちが協力するパートナーシップを充実させる～

目標 17 は、あらゆる人の協力で SDGs を達成することを目指します。なぜ目標 17 が必要なのでしょう？それは、SDGs の目標 1～16 を達成するためには世界中の政府、国民、企業や研究者、技術者、市民団体、地域、学校、家庭、そしてわたしたち一人一人がそれぞれの役割を果たすとともに、連携を深めて SDGs の目標に取り組むことが必要だからです。積極的に関心を持ち、考え、行動に起こすこと。それが地球の抱える複雑で難しい問題を解決していくことになるからです。

あらゆる人が協力して SDGs に取り組むためには、一人一人が SDGs について理解する必要があります。SDGs の日本での認知度は朝日新聞社の調査（2021 年 12 月 n=5,000）では、76.3%となっています。約 8 割の人が「聞いたことがある」と回答し、SDGs の認知度が高まっているといえます。一方で SDGs に関する取組状況については、「既に取り組んでいる」という回答は 10.7%となっており、SDGs という言葉を知っていても行動に移せている人は少ないということが課題となっています。



豊前市の取組 | 「持続可能な豊前市の実現に向けて 必要な行動や方法の強化、連携を進める」

豊前市は、次の世代へ豊かな未来を託すことができる持続可能な地域となるため、「SDGs(持続可能な開発目標)」を市民や企業の皆様とともに学び、実践する取組を推進しています。2021 年 11 月に「一般社団法人つながる地域づくり研究所」と「株式会社ニコン日総プライム」と豊前市の 3 者で締結した協定により実現している取組もその一つです。協定を結んでからのこの間、豊前市観光協会も交えて、2022 年 11 月には「癒しの森でカメラ合宿 in 豊前」というカメラ企画を実現させ新たな豊前市のファンを獲得することができました。また、市民の皆様へ市報を通じて、SDGs についてお知らせすることができました。これらのパートナーが豊前市に寄り添い続けていただいているからこそ、豊前市に暮らす皆様がより活躍する仕組みを企画し、その結果 2023 年 4 月から「おしごとパレット」事業を開始するという新たな一歩を踏み出すことができます。豊前市ではこれからも寄り添い支え合うパートナーシップを充実させ、様々なご協力をいただきながら、持続可能な地域づくりに取組んでいきます。

お問い合わせは 総合政策課 地域創生推進係 ☎82-1124

SDGs の主人公はわたしたち

身近なところにある SDGs

一人一人ができる取組事例

目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」は「互いの強みを活かして共に持続可能な開発をすること、SDGs の達成」を目指す重要な目標です。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。

まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組が紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① SDGs について興味を持ち会社や地域の人、家族や友人などと話してみんなで行動に移す
- ② SDGs に関するイベントなどに参加してみる
- ③ SDGs の達成に向けて頑張っている企業を応援する

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)

